

学校連携活動のリスクマネジメント

～河川での教科教育や防災教育の安全で効果的な実施を考える～

- ◇ 開催日: 平23年2月5日(土)～2月6日(日)
- ◇ 場所: 鶴見川流域センター 1F会議室
(神奈川県横浜市港北区小机町 2081 TEL045-475-1998)
- ◇ 対象: 自然体験活動の指導者、研究者、
川を活用した自然体験教育に興味のある方
- ◇ 参加料金: 一般 5,000円(1日のみ3,000円)
学生 2,000円(1日のみ1,000円)
- ◇ 主催: NPO法人川に学ぶ体験活動協議会
- ◇ 後援: 子どもの水辺サポートセンター 他(予定)

平成22年度のRACフォーラムは学校との連携活動における安全について検証します。

全国の小学校では、来年度より1週間程度の自然体験・生活体験を行なうことが推奨されるようになりました。しかし、学校側としては安全上の問題や、予算要求する手段がないためなどの理由で、導入したくても難しい面があるようです。

今回のフォーラムでは、学校と連携した体験活動プログラムを展開する際の安全確保の方法や、学校と実施受入側団体のコミュニケーション方法、また現場での指導で気をつけることなど、実践している指導者の方々からアドバイスもいただきます。また、川に関する防災教育についても検証します。

RAC指導者をはじめ川を活用した自然体験教育に興味のある方々など、お問い合わせの上是非ご参加下さい。

◇プログラム(案)

(敬称略)

2月5日(土)		
12:30	受付開始	
13:00～13:10	開催挨拶・オリエンテーション	
13:10～14:00	セッション1 「川をツールとした「気づき」の瞬間」	川を活用している教育関係者を招いて、日ごろの指導理念や活動におけるリスクマネジメントについて話していただきます。
14:10～15:00	セッション2 「大洪水への対策と対処」	治水行政の専門家から、今後想定される大洪水や局地的集中豪雨による急激な増水等の被害予測と対応についてお話していただきます。
15:10～16:50	分科会 ① 本物の川を活用した教科教育の展開について ② 川を活用した教育旅行・パッケージプログラムについて ③ 学校にける防災教育(洪水時・平常時の対応)プログラム	各分科会に分かれてワークショップ等を行います。
17:00～18:00	全体会(分科会の集約) 分科会の報告から	学校教育だけでなく、日頃から地域ぐるみで川を子どもに開放している地域の方などをアドバイザーにお招きします。また、皆さんの意見の集約をいたします。
18:30～	交流会(横浜の中華 費用3,000円程度)予定	

2月6日(日)

9:00~13:00

学校支援リーダー養成(補助・全体指導者※1)

- ・ 学校における1週間程度の自然体験活動へ対応できるリーダーの養成会を行ないます。

※1全体指導者として登録できるのはRAC・CONEリーダー登録・更新者のみです。

RAC防災教育プログラム・カリキュラムの検討

- ・ 前日の議論をさらに発展させ、RACの講座として位置づけられるようなカリキュラムについて検討し、さらに深めます。

鶴見川流域センター・ミニツアー(1時間程度・終了後解散)

- ・ 会場となっているセンターでは近隣の学校活動支援などさまざまな取組みを行なっています。今回は1時間程度のミニツアーを企画頂きます。

(プログラムについては予定でありますので、変更することがありますのでご了承下さい。)

◇参加お申込み方法

参加申込書・プログラム詳細につきましては下記ホームページにて掲載の予定です。

定員になり次第締切らせていただきます。

宿泊につきましては各自で手配のほどお願い致します。

NPO 法人 川に学ぶ体験活動協議会事務局

<http://www.rac.gr.jp>

〒104-0033 東京都中央区新川 2-10-6 カヤヌマビル 703号

TEL : 03-5542-7577 FAX : 03-5542-7578

rac@rac.gr.jp

◇会場地図 JR 横浜線 小机駅より徒歩 6~7分



写真 RAC サマーキャンプ in 板取川